

韓国青年訪日団（第7～8団）招へい事業の記録

1. プログラム概要

【目的】「対日理解促進交流プログラム(JENESYS2023)」の一環として、在釜山日本国総領事館、在済州日本国総領事館にて選抜された大学生・高校生等を招へいし、テーマに沿った講義聴講、学校訪問、ホームステイ、視察等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】 プレプログラム（オンラインによる事前学習） 韓国の大学生・高校生等 64 名
招へいプログラム 韓国の大学生・高校生等 64 名

【訪問地】 プレプログラム 東京都 64 名
招へいプログラム 第7団（大学生）東京都、宮城県、大阪府、和歌山県 34 名
第8団（高校生）東京都、高知県、大阪府 30 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習事）：

2月17日（土）プログラム説明、事前学習事項伝達、参加者による対外発信

■ 招へいプログラム：

2月20日（火）成田国際空港、羽田国際空港より入国、オリエンテーション

2月21日（水）【講義聴講】外務省「新しい日韓関係」

<第7団（大学生）>

【交流・視察】JKAF（大学生訪韓団同窓組織）と意見交換及び李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

<第8団（高校生）>

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

2月22日（木）<第7団（大学生）>

宮城県へ移動、【講義聴講】「歴史が導く災害科学の新展開」（東北大学災害科学国際研究所）、【大学訪問・交流】東北福祉大学の学生と社会課題解決の取り組みを学ぶプログラム（ワークショップ・意見交換）

<第8団（高校生）>

高知県へ移動、【表敬】高知県庁、【講義聴講】「高知県の概要と韓国とのつながりについて（姉妹都市 全羅南道と田内千鶴子さん）」、【視察】高知城

2月23日（金）<第7団（大学生）>

【視察】震災復興施設「深沼うみのひろば」、【交流】学生団体「ReRoots」の学生と「10年後の農業は持続しているのか？食を支える農村の未来」を考える」プログラ

ム（ワークショップ・意見交換）、大阪府へ移動

<第8団（高校生）>

幡多郡大月町へ移動、【講義聴講・視察】森・川・海のつながり（生活ごみと海の環境及び生態系との関係について）、四万十市へ移動

2月24日（土）<第7団（大学生）>

【視察】大阪環境産業振興センター「おおさか ATC グリーンエコプラザ」、和歌山県へ移動、【講義聴講】南紀州地域の魅力と同地域の SDGs への取り組み、【交流】ホームステイ対面式

<第8団（高校生）>

【視察・体験】カツオたたき体験（昼食兼）、【交流】ホームステイ対面式

2月25日（日）【交流】終日ホームステイ

2月26日（月）ホームステイより再集合

<第7団（大学生）>

【視察】海洋汚染の現状と SDGs（志原海岸）、【視察】少子化の現状と意見交換（安居小学校・三舞中学校）、【視察】地域の課題についての紹介と討議、成果報告会準備

<第8団（高校生）>

【学校訪問・交流】高知県立中村高等学校、高知市へ移動

2月27日（火）<第7団（大学生）>

大阪府へ移動、【視察】最新の環境技術及び耐震・制振構造「あべのハルカス」、成果報告会

<第8団（高校生）>

大阪府へ移動、成果報告会

2月28日（水）関西国際空港より出国

2. 記録写真



2024年2月21日【講義聴講】「新しい日韓関係」



2024年2月22日【学校訪問・交流ワークショップ】東北福祉大学「日韓の社会課題について共有し理解を深めよう」



2024年2月22日【表敬】高知県庁



2024年2月23日【交流ワークショップ】学生団体「ReRoots」と「10年後の農業は持続しているのか？食を支える農村の未来を考える」



2024年2月23日【講義聴講・視察】森・川・海のつながり



2024年2月24日【交流】ホームステイ対面式



2024年2月26日【視察・交流】少子化の現状と意見交換（安居小学校・三舞中学校）



2024年2月26日【学校訪問・交流】高知県立中村高等学校

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

私にとって今回の訪日は初の海外旅行でしたが、充実した内容に感謝の思いしかありません。各地域での大学生との交流やホームステイ等を通じて、日本の文化を直に体験することができ、SDGs 関連や少子高齢化等、日韓が抱える諸問題等についてもお互いの状況を共有できました。私は日本の俳句が好きで、仙台で大学生の皆さんと交流した時に俳句好きの学生と出会い、お互い好きな俳句を紹介し合い、俳句を詠む声を録音し合った思い出がとても印象深く残っています。

◆ 韓国 大学生

私は日本についての情報や知識も乏しく、今回が初めての日本訪問でしたので、まっさらな状態で見聞きしたことを、純粹にそのまま学ぼうという思いで参加しました。同世代交流とホームステイが一番記憶に残っており、日本の皆さんと将来の夢や趣味等について語り合いながら、自分は今まで人生を余裕もなく生き急いできたのではないかと、余計な荷物は置いてもう少し余裕をもって生きていってもいいのではないかと思うようになりました。このような気付きを与えてくれた初の訪日は本当に貴重な体験となりました。ありがとうございました。

◆ 韓国 大学生

東北福祉大学の学生をはじめとする同世代の皆さんとホストファミリーの皆さんと、下手な日本語でも何とか意思疎通できたのが嬉しかったです。また、出会った様々な日本の皆さんとテーマでもある SDGs 関連プログラム等を通じて、多くの日本文化を学び、人生で決して忘れることのない経験をすることができ、この8泊9日間は本当に幸せでした。日本と韓国は多くの類似した社会的課題を抱えていることを学び、様々な視察や体験を通じ、成長できたように感じます。今回の成長を基に、私たちは帰国後、周りの若者に日本への関心を持つよう呼びかけ、未来の日韓において抱える様々な共通課題を解決できるような人材としてさらに成長していきたいです。

◆ 韓国 高校生

一番記憶に残っているプログラムはホームステイです。様々な講義や視察もとても楽しく今後役立つことばかりでしたが、ホームステイのように日本人社会に飛び込める機会は少ないため特別な時間となりました。日本人の優しさや温かさは世界的に知られていますが、今回それを肌で感じる事ができて良かったです。

◆ 韓国 高校生

高知県幡多郡にある柏島のきれいな海を自分の目で見て、海洋ゴミ問題（特にマイクロプラスチック問題）の深刻さについて知ることができて良かったです。これをきっかけに、私たちにはどんなことができるのか、考え実践していきたいと思います。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 仙台を拠点にボランティア活動をする学生団体

今回は私たちにとって初めての海外からの受け入れでした。まずは、東日本大震災や自分たちの地域の状況を紹介し、それらをもとにグループに分かれて各地域の農村の持続等についてディスカッションをしました。若者の農村離れは韓国でも大きな問題になっているらしく、韓国で実際に行われている政策や事例について教えてもらって日本と比較したり、私たちの活動に対して意見をもらったり、新鮮で有意義な交流ができました。言葉の壁はありながらも、たくさんお話をすることができ、本当に楽しい時間でした。交流も楽しみながら、東日本大震災のことや自分たちの地域のことも知っていただくことができ、嬉しく思っています。

◆ 南紀州ホストファミリー

床の間付きの和室に泊まっていたのですが、畳、障子、掛け軸等、授業で教わった通りだと喜んでくれました。一緒に料理したり、積極的にお互いのことを質問し合ったり、様々な日本の家庭を体験していただき、お別れの時は「本当の家族になった気がします」と言ってくれて、こちらも嬉しかったです。みんな日本のことが大好きで、日本語も勉強していて、素直でとても良い学生たちでした。

◆ 高知県四万十市ホストファミリー

みんなで食卓を囲みながら、韓国の文化・習慣・観光について話をしてもらいました。日本語での会話交流は、彼女たちにとってとても充実した時間になったようです。また国際交流の勉強をしている小学生の孫にとっても、今回の出会いがとても良い経験になりました。

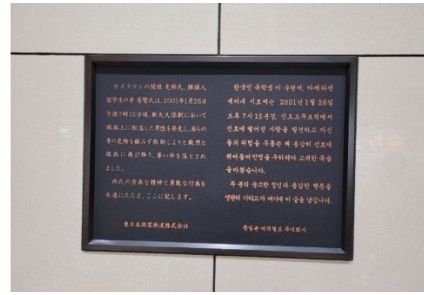
◆ 高知県立中村高等学校学生

最初は話が通じるか不安でしたが、韓国の学生がたくさんコミュニケーションをとってくれてとても嬉しかったです。本当に皆さん日本語が上手でした。交流を通し国籍は異なりますが同じ人間なのだと感じ、もっと世界を見てみたいと海外留学に興味が湧いてきました。また日本では当たり前であるハザードマップや非常用持ち出しリュックなどを知らない学生が多く、災害に対する意識が異なり驚きました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



‘새로운 한일 관계’라는 주제의 강연이었다
 일대대수라는 표현을 처음 들어봤는데,
 바다를 사이에 둔 이웃 국가라는 뜻이라고 한다.
 여러 번의 교류를 통해 한일 간 관계가
 완화되었다고 하는데, 예를 들어
 케이팝, 한국 드라마나 영화 등이 일본에서
 큰 인기를 얻고, 일본 애니메이션이나 영화 등이
 한국에서 큰 인기를 얻고 있다.
 이러한 문화 & 사회 & 경제 교류로
 한일 모두 앞으로 긍정적인 성장을 하길 바라는
 마음이 커졌다. 또한 그럼에도 아직
 해결되지 못한 역사 문제로
 하인 가 시라를 바타오르



신오쿠보 역에서 신오쿠보 의원 이수현씨 추모 동판을 보고왔습니다.
 일본에 오기 전에 학교 수업에서나 오리엔테이션 등등에서 많이 이수현
 씨의 이야기를 접했는데... 역시 실제로 정말 역 역량에 추모 동판이 있는
 걸 보니가 학 마음에 다가오더라고요.
 국적을 가리지 않은 용기있고 선한 행동을 여러차례 배우고 또 느끼며 저
 도 좋은 영향을 받았습니다.

2024年2月21日（ブログ・抜粋）
 外務省で「新しい日韓関係」の講義を受けまし
 た。日韓両国は海を挟んだ隣国「一衣帯水」の関
 係であり、度重なる交流を経て関係が和されて
 きたということでした。例えば日本では K-POP
 や韓国ドラマ・映画等が人気であり、韓国では
 日本のアニメや映画等が人気です。このような
 文化や社会、経済交流によって、今後も両国が
 共に前向きに成長することを願う思いが大き
 くなりました。また、未だ解決していない歴史問
 題についても、両国間の愛を礎に解決できない
 ものだろうかと考えました。

2024年2月21日（Naver Blog）
 新大久保駅にて故 李秀賢さんの慰霊碑を見て
 きました。日本に来る前にも学校の授業やオリ
 エンテーションなど、たくさん触れてはきまし
 たが…実際に駅構内の慰霊碑を見ると胸にくる
 ものがありました。
 国籍を問わない勇氣ある善良な行いを学び感じ
 とることにより、私も良い影響を受けました。



심다, 한번도 해보지 못했던 경험들을 잔뜩 하고 많은 일본인 친구들을
 사귀는 경험은 정말 가슴이 들뜨는 추억이 아닐 수 없다. 도쿄역에서
 샌디까지 최신형 고속열차인 하야부사를 타거나, 기차 안에서 예키벤을
 먹는다가나 하는 것은 정말 남만으로도 남겨두었던 것을 실현하는 것이라
 행복했다. 샌디에 도착하자 새하얗게 물든 거리가 눈에 들어왔다.
 새하얗게 내린 눈은 마음을 들뜨게 만들었고, 그 상태로 도호쿠 대학에
 도착해 강의를 듣게 되었다. 강의내용은 우리가 앞으로 할 수 있는 일,
 재해 속에서도 후대를 위해 기록을 남기는 일을 생각하게 만들었다.
 이후에는 도호쿠복지대학으로 이동해 방재에 대한 이야기를 나누거나
 한일 양국 공통의 문제에 대해 이야기를 나누었는데, 생각보다 더 많은
 공통점이 있다는 것에 놀랐다. 그리고 앞에서 진행해주었던 전대물
 형식의 교육은 다들 성우처럼 멋진 목소리와 함께여서 어릴 적으로
 들어있던 것만큼 흥분해서 보게 되었다. 이후 그 친구들과 함께 이야기를
 나누고, 2차까지 가며 매우 친해졌다. 너무나도 소중한 기억이
 아닐 수 없다. 이런 경험을 앞으로도 잊면 더 할 수 있다는게 그저 행복할
 뿐이다.
 만나서 기뻐고, 언젠가 다시 보자!
 会えて嬉しかったし、いつかまた会おう!



2024年2月22日（Instagram・抜粋）
 今日東北大学で講義を聴き、自然災害に向け
 て自分たちができることは何か、後世のために
 記録を残しておくことの大切さ等を学びまし

2024年2月23日（Instagram）
 今日海の生態系とマイクロプラスチック問題
 について学び、環境が整っている海でしか見つ
 けることのできない微小貝を採取、記念品とし

た。次に東北福祉大学において、日韓両国の課題や防災等について意見交換し、日韓には予想以上に共通の課題があることに驚きました。その他にも、新幹線での駅弁や仙台での雪景色、たくさんの日本の友達と交流し胸が熱くなるなど、初めての経験ばかりの幸せな一日でした。会えて嬉しかったし、いつかまた会おう！

て持ち帰りました。
微小貝が散在する海岸に移動する途中、目の前でイルカに会うことができました！
こんなに美しくきれいな海がマイクロプラスチックにより汚され、生態系が崩されているという事実胸が痛く、私たちにできることはどんなことなのか考える時間となりました。



2024年2月26日（Instagram・抜粋）
今日は高知県立中村高等学校を訪問し、日本の学生たちとたくさん交流しました。日本の部活動や授業を体験し、とても不思議な感じがしました。防災の授業において地震発生時に34メートルほどの津波が襲ってくる可能性があることを知り大きな衝撃を受けるとともに、これを解決するために韓国と日本、両国が力を合わせることができると思いました。
今日一日、一緒に過ごした中村高校のみんな！
歓迎してくれてありがとう！！

2024年2月26日（南紀白浜コミュニティ放送ビーチステーション：FM 生放送番組「We Love 南紀白浜！」）
少子化の現状と意見交換のため、訪れていた白浜町立安居小学校・三舞中学校で、小中学生との交流の様子を同局番組が生放送で紹介、団長と団員のインタビューも含め、10分程度放送されました。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

(訪問地：東京都、宮城県、大阪府、和歌山県、高知県)

<p>액션 플랜 2024년~2025년</p> <p>1단계</p> <ul style="list-style-type: none"> • SNS를 기반으로 한 SNS를 통한 방일단 후기 업로드 및 일본의 매력 관련 내용 공유 • 일본 대학생과의 지속적인 교류 및 교환학생을 위한 일대일 교류 <p>2단계</p> <ul style="list-style-type: none"> • SNS를 기반으로 한 지역생들과의 지속적인 교류 • 일본 내 대학 교환수험을 통한 연차 교환학생 및 연차도 (문화 교류를 통한 경험을 바탕으로 일본 거주 시 아끼지는 다양한 상황에 유연하게 대처 가능) • 국내 입국 코퍼 스테디 동아리 개설 <p>3단계</p> <ul style="list-style-type: none"> • J-LPT 자격증 취득 • 교환학생 대안 및 공적인 참여를 통해 학업과 연계한 지속적인 관심 유지 및 확산 노력 • 방일단과 교환학생을 대상으로 연차로 교류 강화 <p>단계 목표 SNS 홍보, 일본 어학시험 준비 및 일본 학생과 비대면 교류</p> <p>장기 목표 일본 교환학생 접매 방만하여 홈스테이 및 일본 학생들과 교류</p> <p>한일의 옹호적 관계 형성</p>	<p>JENESYS 2023</p> <p>#What we learned 일본 1PM의 교육환경 직접 체험함으로써 정서와 문화의 이해 일제강점기 때 한국인 고아를 위해 목포공생원에서 생은 단원형은 등락가 선생님 일본어와 일본의 심문화에 대하여 배움 한국과 일본의 1년전 교류에는 뒤쳐 지는 게 안 믿고</p> <p>#What we felt 한류 영향 향상 지속적인 교류를 통한 더 나은 한일관계 유지. 여수전 처연과 동학자 선생님에 대해 알게 되었고, 그분들의 마음가짐을 알고 싶음 한일간의 관계가 좋아질수 있을 것임을 느꼈 한국과 일본은 각자 각자 생명이 서로 같이 살아야 함</p> <p>#What we will do 한일 양국 간 서로 이해를 위한 open-mind Mind 외국적 장수권 관련 할 수 있는 방법 모색 대학생들에게 리얼한 일본에 대해 알릴 것임 SNS의 홍보 이런 것만으로도 좋은 것은 한자 많은 것에서 배울 것임</p>
<p>【訪日中の学び】</p> <p>今回の8泊9日間で多くの講義・視察等の経験をし、日本についての関心がより一層高まり、たくさんの成長をする機会になりました。防災について深く学び考えるきっかけにもなり、おおさか ATC エコプラザや南紀州では日本のSDGs関連対策や少子高齢化対策等について学ぶこともでき、何よりも同世代の日本の友人のこれらの社会的課題についての関心の高さに驚き、積極的に地域社会に向けて活動している様子に深く感銘し、多くのことを学ばされました。</p> <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する教育は日本の方が進んでおり、昨今韓国でも自然災害が年々増えている状況を見ても、日本の防災教育、そして減災という考え方は韓国でも取り入れるべきで積極的に周りに知らせたいと思いました。 ・SDGs 関連や少子高齢化等について、今回は多くの同世代の日本人、ホストファミリーの方々、南紀州地域の方々とは意見交換しましたが、予想以上に日韓両国において共通する課題が多く驚くのと同時に、問題解決のためお互いに参考にすべきではないか、共に解決策を見出していくための研究等をすべきではないかと感じました。 <p>【アクション・プラン】</p>	<p>【訪日中の学び】</p> <p>メディアで伝えられている日本と実際に自分の目で見た日本は異なる部分が多く、日韓関係に対する認識も変わり、これからの日韓関係には私たちのような世代が重要な役割を担っていくということを感じました。また持続的にこのような交流を続けていくことで、日韓関係の改善もさることながら、より良い日韓関係を維持することが出来ると思います。</p> <p>田内千鶴子さんと李秀賢さんの功績を知り、お二人のような温かい心の持ち主になりたいと思いました。</p> <p>【テーマに関する訪日中の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から SDGs について興味を持っていましたが、日本の取り組みについて知ることができてよかったです。また日韓両国にはお互いに協力できることが多くあることについても知ることができました。 ・様々なプログラムを通し、日本に対する関心を高めながら学ぶことができました。 ・学校訪問の際、日本の防災意識と対策について知り、学生たちが自ら準備している様子に驚くとともに、私たちも見習わなければならないと強く思いました。 <p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回出会った人たちとの関係維持・強化

<ul style="list-style-type: none"> ・第1段階：SNS で訪日団の内容と日本の魅力を発信し、日本の同世代の友人と持続的な交流をしながら円滑な意思疎通のために日本語を勉強する ・第2段階：SNS 発信を基に、日韓両国の大学生の持続的な交流を続けると共に、日本の各大学との交流や留学情報等を含む有益なコンテンツを制作して発信、JLPT スタディサークルも開設 ・第3段階：JLPT 合格、日本関連の様々な活動や取り組みに積極的に参加し、日韓関係へ持続的な関心を維持し続けると共に、周りの方々にも関心を持っていただけるよう拡散する ・上述したような短期目標＋長期目標＝日韓の友好的な関係を形成していきたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の勉強を始める（ひらがな/カタカナ） ・ JLPT（日本語能力試験）や SJPT（日本語スピーキングテスト）のような日本語関連試験への挑戦 ・日本語に関する部を設立する ・日本企業のセミナーに参加する ・交換留学制度に挑戦する
--	---

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金